

平成26年度決算について

平成27年10月5日
水道事業審議会
議題(1)

目次

平成26年度業務の状況	-----	1
平成26年度主要事業	-----	2～6
地方公営企業会計制度改正の概要	-----	7
平成26年度水道事業収支状況	-----	8～10
平成26年度繰入金一覧表	-----	11
(グラフ) 給水収益と給水戸数の状況	}	12
(グラフ) 総配水量、有収水量、有収率の状況		
(グラフ) 水道料金の収入状況	-----	13
(表) 水道料金の収入状況	-----	14
(グラフ) 企業債残高の状況、基幹管路の耐震化率	-----	15
(グラフ) 浄水施設耐震率、配水池耐震施設率	-----	16
(グラフ) 営業収支比率	-----	17
平成26年度資金不足比率	-----	18

平成26年度業務の状況

項目	単位	平成26年度	平成25年度	比較増減	
				増減	率(%)
給水収益(税抜き)	千円	2,554,580	2,610,556	△55,976	△2.14
給水戸数(平成26年度末現在)	戸	55,923	55,476	447	0.81
給水人口(平成26年度末現在)	人	160,276	160,280	△4	△0.00
年間総配水量	m ³	20,011,008	20,330,668	△319,660	△1.57
有収水量	m ³	18,367,226	18,748,079	△380,853	△2.03
有収率	%	91.8	92.2	△0.4	△0.43
一日平均配水量	m ³	54,825	55,700	△875	△1.57
一日最大配水量	m ³	61,887	64,110	△2,223	△3.47
導送配水管総延長	m	1,155,981	1,153,079	2,902	0.25

【参考】有収水量の状況

(単位：m³)

区分		平成26年度	平成25年度	増減
鳥取・ 国府 地域	1m ³ ~10m ³	6,944,374	6,934,488	9,886
	11m ³ ~20m ³	3,908,873	3,966,220	△57,347
	21m ³ ~40m ³	2,435,131	2,558,149	△123,018
	41m ³ ~200m ³	1,606,623	1,690,740	△84,117
	201m ³ 以上	2,527,572	2,640,841	△113,269
	計	17,422,573	17,790,438	△367,865
河原地域		386,468	384,764	1,704
青谷地域		558,185	572,877	△14,692
合計		18,367,226	18,748,079	△380,853

平成26年度主要事業について

◆主要な建設改良事業

1 第8回拡張事業（送水・配水施設整備事業）

【事業の概要】

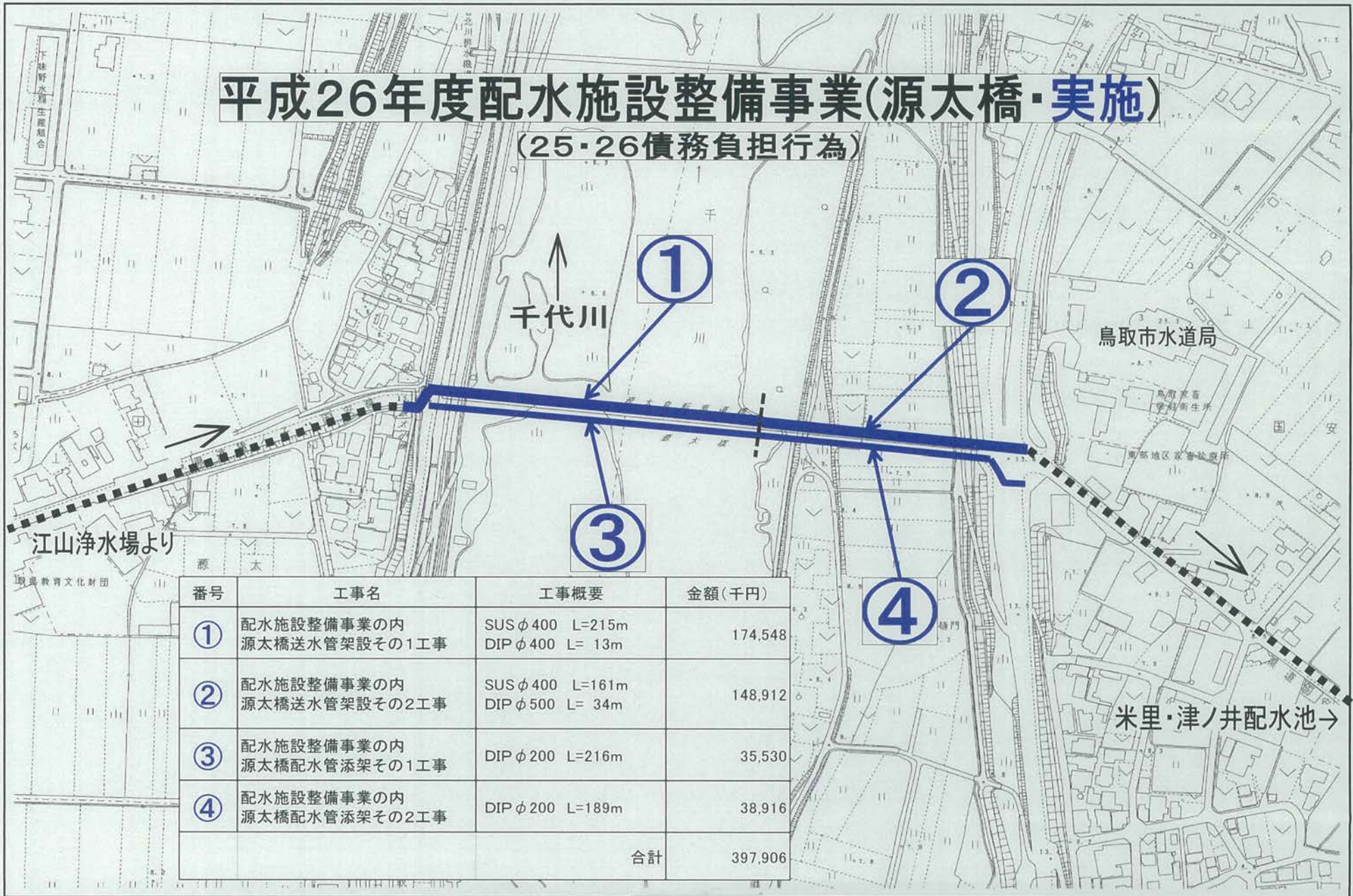
・源太橋拡幅、補修事業に伴う水道管の添架替工事や、河原インター山手工業団地の給水開始に向けて、江山浄水場から工業団地までの間の配水施設整備として主に送水管路の整備を行いました。

【事業費】

750,565千円	・工事請負費	678,861千円
〔前年度〕	源太橋拡幅、補修事業	
562,004千円	源太橋送水管架設その1工事 等	397,906千円
	河原インター山手工業団地水道施設整備	
	片山ポンプ場～配水池間送水管布設その5工事 等	66,065千円
	その他の水道施設整備	
	丸山町地内送配水管布設その1工事 等	214,890千円
	・委託料	2,894千円
	源太地内ほか送水管布設詳細設計業務	
	・負担金（源太橋橋梁補強工事負担金）	866千円
	・その他（人件費等）	67,944千円

平成26年度配水施設整備事業(源太橋・実施)

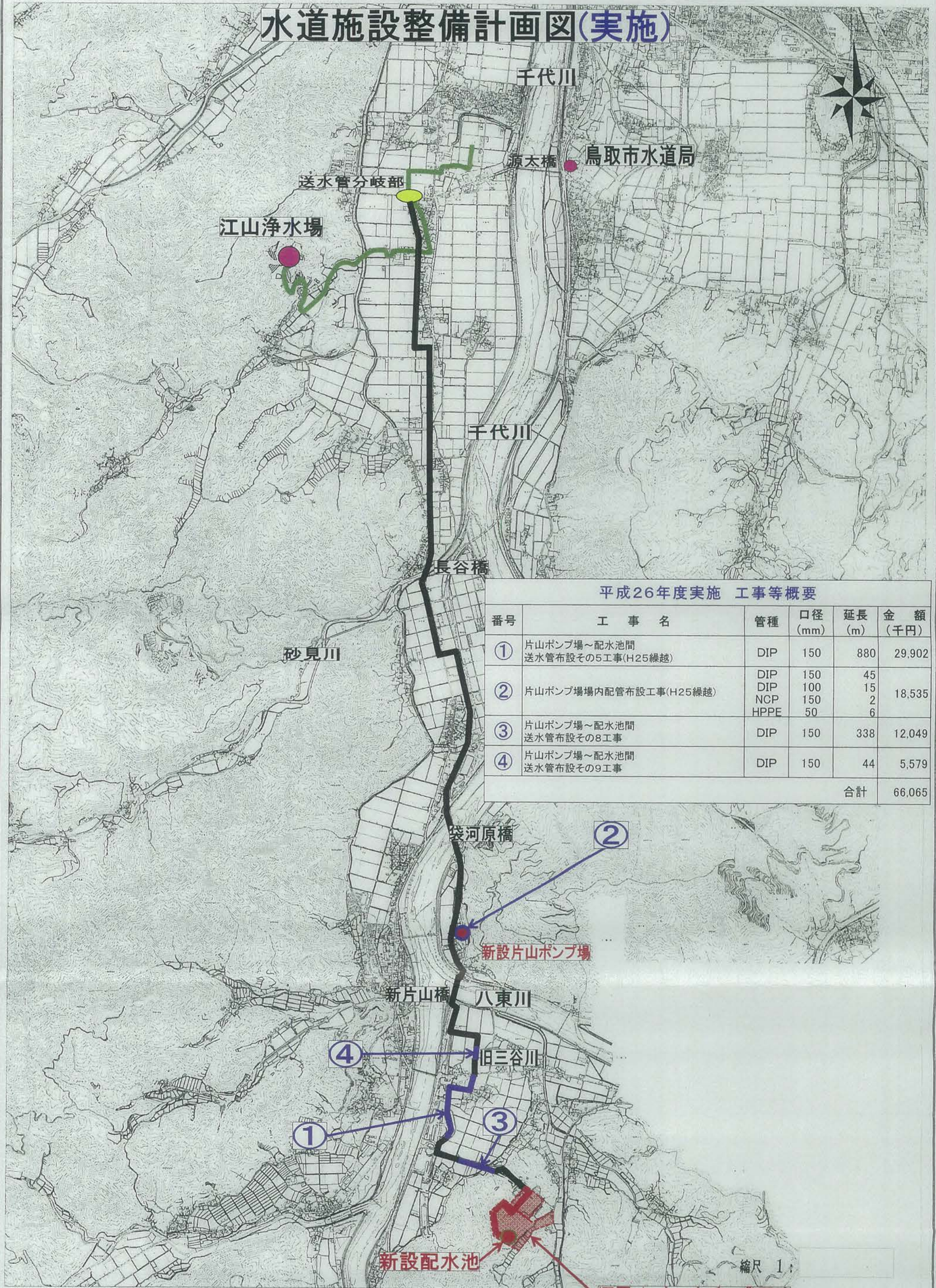
(25・26債務負担行為)



番号	工事名	工事概要	金額(千円)
①	配水施設整備事業の内 源太橋送水管架設その1工事	SUSφ400 L=215m DIPφ400 L= 13m	174,548
②	配水施設整備事業の内 源太橋送水管架設その2工事	SUSφ400 L=161m DIPφ500 L= 34m	148,912
③	配水施設整備事業の内 源太橋配水管添架その1工事	DIPφ200 L=216m	35,530
④	配水施設整備事業の内 源太橋配水管添架その2工事	DIPφ200 L=189m	38,916
		合計	397,906

平成26年度河原インター山手工業団地

水道施設整備計画図(実施)



平成26年度実施 工事等概要

番号	工事名	管種	口径 (mm)	延長 (m)	金額 (千円)
①	片山ポンプ場～配水池間 送水管布設その5工事(H25繰越)	DIP	150	880	29,902
②	片山ポンプ場場内配管布設工事(H25繰越)	DIP	150	45	18,535
		DIP	100	15	
		NCP	150	2	
		HPPE	50	6	
③	片山ポンプ場～配水池間 送水管布設その8工事	DIP	150	338	12,049
④	片山ポンプ場～配水池間 送水管布設その9工事	DIP	150	44	5,579
合計					66,065

河原インター山手工業団地

2 配水管等改良事業

【事業の概要】

- ・老朽化した鑄鉄管、塩化ビニール管、鋼管を震災対策整備事業等により2.9km耐震管に布設替えするとともに、鉛製給水管更新事業等により鉛製給水管を983戸布設替えを行いました。
- ・有収率の向上に努めるため、公道漏水調査は、鳥取地域の北東部、国府地域及び青谷地域を行いました。
- ・水道管路の効率的な維持管理を行うため、平成24年度から取り組んでいた「水道管路情報管理システム」の構築が完了しました。

【事業費】

569,643千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事請負費 468,230千円 <ul style="list-style-type: none"> 震災対策整備事業 165,129千円 鉛製給水管更新事業 145,147千円 その他の工事（原因者工事等） 157,954千円 ・ 委託料 40,548千円 <ul style="list-style-type: none"> 鳥取市上水道事業変更認可申請書等作成業務 等 ・ その他（人件費等） 60,865千円
〔前年度〕 654,738千円	

3 諸施設整備事業

【事業の概要】

- ・江山浄水場通信制御装置改良工事などを施工し、老朽化した設備の更新を行いました。

【事業費】

123,668千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事請負費 94,519千円 <ul style="list-style-type: none"> 江山浄水場通信制御装置改良工事 等 ・ 委託料 29,149千円 <ul style="list-style-type: none"> 下味野高地区配水池及び賀露No1配水池耐震診断業務 等
〔前年度〕 127,935千円	

◆その他の主要事業

1 鳥取市水道事業長期経営構想の改訂

本市水道事業の基本理念や目指すべき方向性を示し、構想を実現するための施策を設定するとともに健全な水道事業の経営を行うため「鳥取市水道事業長期経営構想」の改訂を行いました。

2 簡易水道整備の事務受託

平成28年度末に簡易水道事業が上水道事業に統合されることに伴い、平成23年度より簡易水道の施設整備に係る事務の一部委任を受け、工事の設計、監督等を行っています。

平成26年度は、福部中央簡易水道、蔵見上野簡易水道及び明治豊実簡易水道などの整備を行いました。

3 鳥取市水道事業100周年記念事業関係

本市水道事業は、大正4年10月に給水を開始し、平成27年に100周年を迎えます。このため平成26年度は「鳥取市水道百年史」発行に向けての編さん業務に着手するとともに、記念ボトル水、飲用水栓製作等を行うなど機会を捉え100周年の広報を実施しました。

4 地方公営企業会計制度の改正

地方公営企業の会計制度は、平成23年度の地方公営企業法及び関係政省令の改正により、昭和41年以来、約半世紀ぶりとなる大幅な見直しが行われ、新しい会計基準は平成26年度の予算及び決算から適用されました。なお、会計基準が改正されても、資金的な変動はありません。

地方公営企業会計制度改正の概要

1 借入資本金の負債計上

企業債は、従来の「資本の部」の「借入資本金」から翌年度の償還に係るものは「負債の部」の「流動負債」、それ以外の償還に係るものは、「固定負債」へ変更して計上します。

2 引当金の計上の義務づけ

従来、任意であった退職給付引当金、賞与引当金などの引当金の計上が義務化されました。

引当金の要件である「将来の費用が、その発生年度以前の原因によって発生し、その金額を合理的に見積もることができる場合」を満たす事象について、引当金を計上し、貸借対照表上に表示します。

- ① 退職給付引当金・・・年度末に職員が一斉に退職した場合の支払義務額を計上
- ② 賞与引当金・・・ 期末・勤勉手当における翌年度6月支給分について、算定対象期間である、前6月分のうち当年度分に係る12月から3月までの支払義務額を計上
- ③ 貸倒引当金・・・ 翌年度の水道料金の不納欠損分を見込み計上

【決算額】

① 退職給付引当金不足額(その他特別損失)	866,984千円 (H25期末要支給額)
② 賞与引当金不足額(その他特別損失)	42,588千円 (H25.12~H26.3)
③ 貸倒引当金不足額(総係費)	4,114千円 (H27決算不納欠損分)

3 補助金等により取得した固定資産の償却制度等の見直し

補助金等を財源に取得した固定資産の減価償却計算においては、補助金等の部分については減価償却を行わない「みなし償却制度」が廃止されることとなりました。それによりすべての償却資産で、補助金等に対する部分を含めた「フル償却」を行い、これ以後減価償却する資産に対する補助金等については「資本の部」の「資本剰余金」から「負債の部」の「長期前受金」へ変更して計上したうえで、後々の減価償却に合わせて毎年「長期前受金戻入」として収益化を行います。

決算において、これまでフル償却を行っていた資産については、減価償却費として費用のみ計上していましたが、制度改正の移行処理として、その見合い分の収益を「その他未処分利益剰余金変動額」として計上し、これまでの繰越欠損金を補てんし、さらに今回の制度改正に伴って引当てが義務付けられた退職給付引当金を一括計上しています。

【決算額】

長期前受金戻入(収益的収入)	596,342千円	
みなし償却の廃止に伴う減価償却費の増加分(収益的支出)	約470,000千円	
(貸借対照表)		
利益剰余金(当年度未処分利益剰余金)	3,564,676千円	
その他未処分利益剰余金変動額	4,973,574千円	・・・平成26年度のみ計上
前年度繰越欠損金	△ 398,104千円	
当年度欠損金	△ 1,010,794千円	

平成26年度水道事業収支状況

(単位：千円)

区 分	H26決算	H25決算	増 減		備 考	
			金額	伸び率 (%)		
収益的収支	収益的収入	3,359,613	2,859,118	500,495	17.5	会計基準の見直しに伴い、償却資産の取得により交付された補助金等の減価償却見合い分を「長期前受金戻入」として収益化したことによる増など。
	収益的支出	4,370,407	3,035,049	1,335,358	44.0	会計基準の見直しに伴い、「みなし償却制度」が廃止されたことに伴う減価償却費の増、退職給付引当金不足額を一括計上したことによる増など。
	差 引	△1,010,794	△175,931	△834,863		
その他未処分利益 剰余金変動額		4,973,574	0			会計基準の見直しに伴い、平成26年度のみ計上。
当年度未処分 利益剰余金		3,564,676	△398,104			
資本的収支	資本的収入	993,671	850,517	143,154	16.8	源太橋拡幅、補修事業に伴う企業債の増など。
	資本的支出	2,233,435	2,025,213	208,222	10.3	源太橋拡幅、補修事業に伴う建設改良費の増など。
	差 引	△1,239,764	△1,174,696	△65,068		

※収益的収支は税抜き、資本的収支は税込み

●平成26年度 水道事業収支状況（前年度対比）

1. 収益的収支の状況（損益計算書・税抜決算額）

（単位：千円）

区分／年度		平成26年度	平成25年度	増減額	増減率（%）
収 益	営業収益	2,732,868	2,811,742	△78,874	△2.8
	給水収益	2,554,580	2,610,556	△55,976	△2.1
	受託工事収益	978	1,068	△90	△8.4
	その他営業収益	177,310	200,118	△22,808	△11.4
	営業外収益	626,745	47,376	579,369	1,222.9
	受取利息及び配当金	205	205	0	0.0
	他会計補助金	26,804	34,251	△7,447	△21.7
	長期前受金戻入	596,342	0	596,342	皆増
	雑収益	3,394	12,920	△9,526	△73.7
	水道事業収益 計	3,359,613	2,859,118	500,495	17.5
費 用	営業費用	3,091,523	2,656,255	435,268	16.4
	原水及び浄水費	457,211	437,935	19,276	4.4
	配水費	199,363	194,104	5,259	2.7
	給水費	140,704	141,514	△810	△0.6
	受託工事費	5,134	4,676	458	9.8
	業務費	187,402	174,403	12,999	7.5
	総係費	258,431	302,300	△43,869	△14.5
	減価償却費	1,790,441	1,319,687	470,754	35.7
	資産減耗費	52,837	81,636	△28,799	△35.3
	営業外費用	362,469	373,756	△11,287	△3.0
	支払利息及び企業債取扱諸費	359,621	372,395	△12,774	△3.4
	雑支出	2,848	1,361	1,487	109.3
	特別損失	916,415	5,038	911,377	18,090.1
	過年度損益修正損	6,843	5,038	1,805	35.8
	その他特別損失	909,572	0	909,572	皆増
水道事業費用 計	4,370,407	3,035,049	1,335,358	44.0	
収支差引		△1,010,794	△175,931	△834,863	
その他未処分利益剰余金変動額		4,973,574	0		
当年度未処分利益剰余金		3,564,676	△398,104		

2. 資本的収支（税込決算額）及び補てん財源の状況

（単位：千円）

区分／年度		平成26年度	平成25年度	増減額	増減率(%)
収 入	企業債	729,600	364,600	365,000	100.1
	他会計補助金	45,218	44,317	901	2.0
	出資金	25,800	145,700	△119,900	△82.3
	工事負担金	193,053	295,900	△102,847	△34.8
	資本的収入 計	993,671	850,517	143,154	16.8
支 出	建設改良費	1,489,779	1,357,983	131,796	9.7
	配水施設整備費	750,565	562,004	188,561	33.6
	配水工事費	598,792	748,399	△149,607	△20.0
	営業設備費	45,903	13,305	32,598	245.0
	機械及び装置改良費	94,519	34,275	60,244	175.8
	企業債償還金	743,656	667,230	76,426	11.5
	資本的支出 計	2,233,435	2,025,213	208,222	10.3
差引不足額		1,239,764	1,174,696	65,068	5.5

補 て ん 使 用 額	過年度分損益勘定留保資金	1,155,089	1,133,493
	当年度分損益勘定留保資金	0	0
	減債積立金	0	0
	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	84,675	41,203
	計	1,239,764	1,174,696

平成26年度 繰入金一覧表

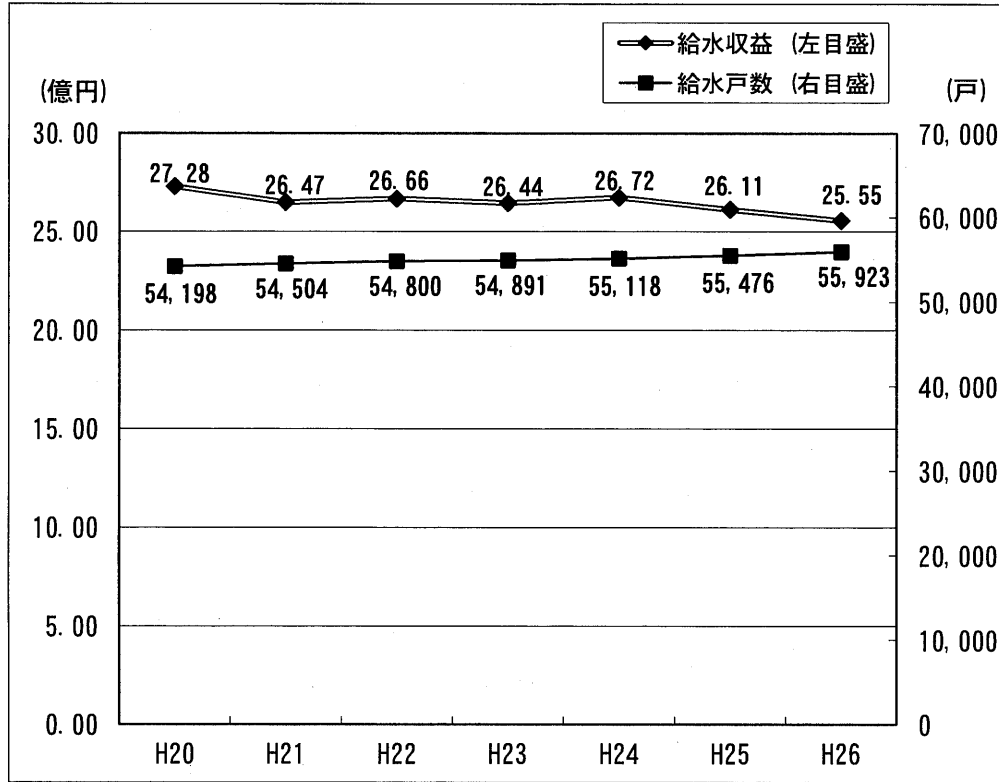
(単位 円)

●一般会計から企業会計

項 目	2月補正後予算額	決算額	繰出基準等	水道局収入科目	備 考	
1 殿ダム負担金	11,254,000	11,253,389	H5~H16殿ダム負担金の元利償還の1/3	他会計補助金	元金 7,782,315 利息 3,471,074	
2 震災時応急給水拠点整備事業	40,372,000	40,371,196	震災時応急給水拠点整備事業費の元利償還の1/2	他会計補助金	元金 29,182,419 利息 11,188,777	
3 青谷町	旧日置簡易水道元利償還金	10,426,000	10,425,228	旧日置簡水に係る元利償還金	他会計補助金	元金 7,602,291 利息 2,822,937
	下蔵内地区地域施設整備事業	382,000	381,710	下蔵内地区地域施設整備事業に係る元利償還額	"	元金 294,322 利息 87,388
	望町団地造成事業	445,000	445,156	望町団地造成事業に係る元利償還額	"	元金 357,030 利息 88,126
	小 計	11,253,000	11,252,094			
4 児童手当に要する経費	9,146,000	9,146,000	繰出基準(児童手当)	他会計補助金		
5 消火栓設置費	23,728,000	23,728,000	繰出基準(消火栓等)	工事負担金	鳥取 22,375,000 河原 1,353,000 青谷 0	
	消火栓維持管理費	8,500,000		7,723,273	その他営業収益	鳥取 7,541,131 河原 27,702 青谷 154,440
6 河原インター山手工業団地整備事業	8,200,000	25,800,000	鳥取市負担分の1/2(合併特例債)	出資金	H25 18,200,000 H26 7,600,000	
	7,878,000	26,230,000		工事負担金	H25 18,472,000 H26 7,758,000	
7 下水道使用料事務受託料	84,473,000	84,472,793	日本水道協会の算出方式(算定額の100%)	その他営業収益	鳥取 81,489,000 河原 1,814,452 青谷 1,169,341	
8 下水	下水道口座振替済通知書発行経費	1,935,000	1,934,540	その他営業収益		
	集落排水口座振替済通知書発行経費	123,000	122,710	"		
	集落排水使用料賦課等事務経費	7,664,000	7,663,711	"	鳥取 4,928,496 河原 1,556,118 青谷 1,179,097	
	金融機関オンライン経費	91,000	91,502	"		
	下水道使用料電子データ提供料	4,000	3,769	"		
	水道料金システム変更に伴う経費	1,234,000	1,234,396	"		
小 計	11,051,000	11,050,628				
9 集合住宅各戸計量・各戸徴収にかかる経費	125,000	41,525		その他営業収益		
10 情報ハイウェイ簡易水道負担分	3,818,000	3,818,000		その他営業収益		
11 簡易水道	簡易水道事務受託料	15,586,000	18,346,000	工事請負額×3.5%	その他営業収益	
12	簡易水道事業統合に伴う鳥取市 上水道事業変更認可申請書作成業務	15,904,000	15,904,000		工事負担金	
13	福部地域簡易水道整備に伴う 丸山ポンプ場改修設計業務	5,099,000	5,248,000		工事負担金	
14 被災者の受入に要する経費	520,000	520,000	特別交付税(被災者の受入に要する経費) 東日本大震災被災者の水道料金減免措置	その他営業収益		
合 計	256,907,000	294,904,898				

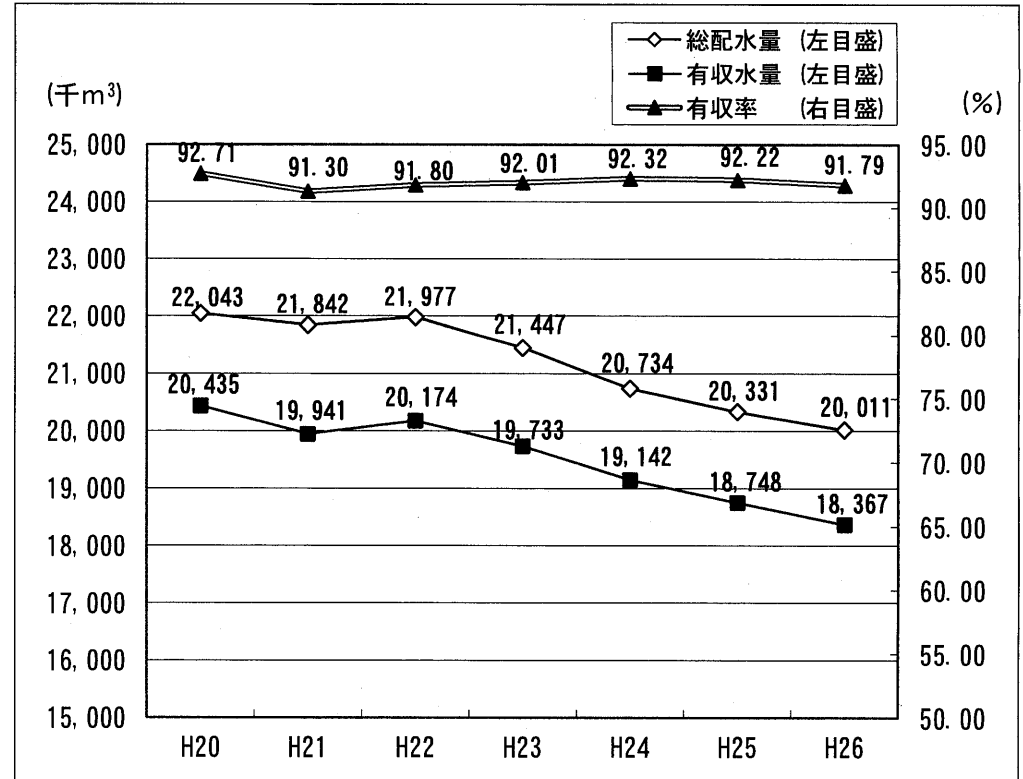
元金は資本的収入、利息は収益的収入

給水収益と給水戸数の状況



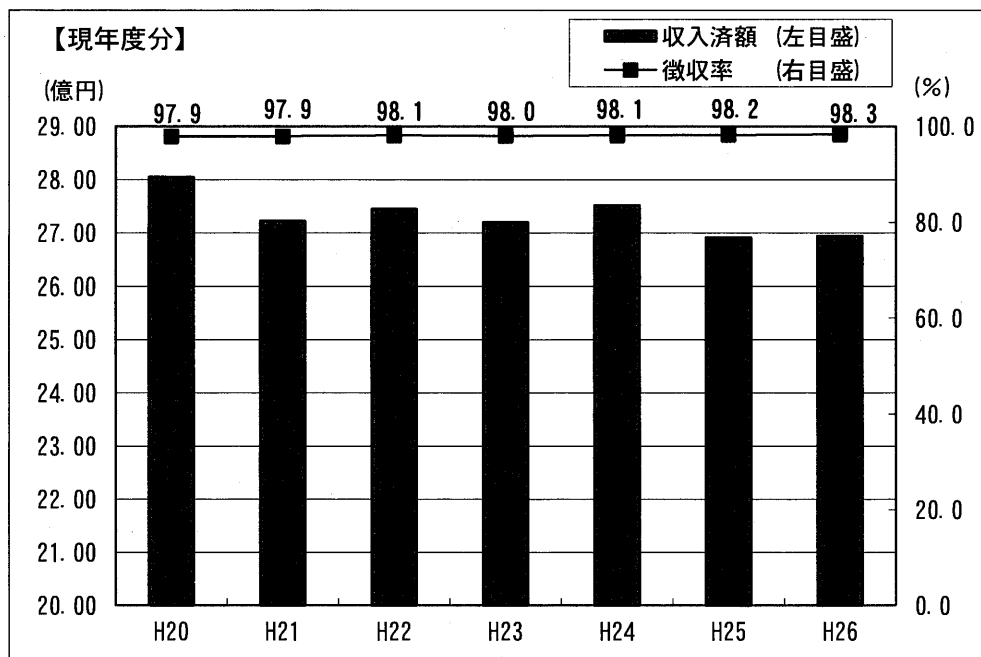
	単位	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
給水収益 (左目盛)	億円	27.28	26.47	26.66	26.44	26.72	26.11	25.55
給水戸数 (右目盛)	戸	54,198	54,504	54,800	54,891	55,118	55,476	55,923

総配水量、有収水量、有収率の状況

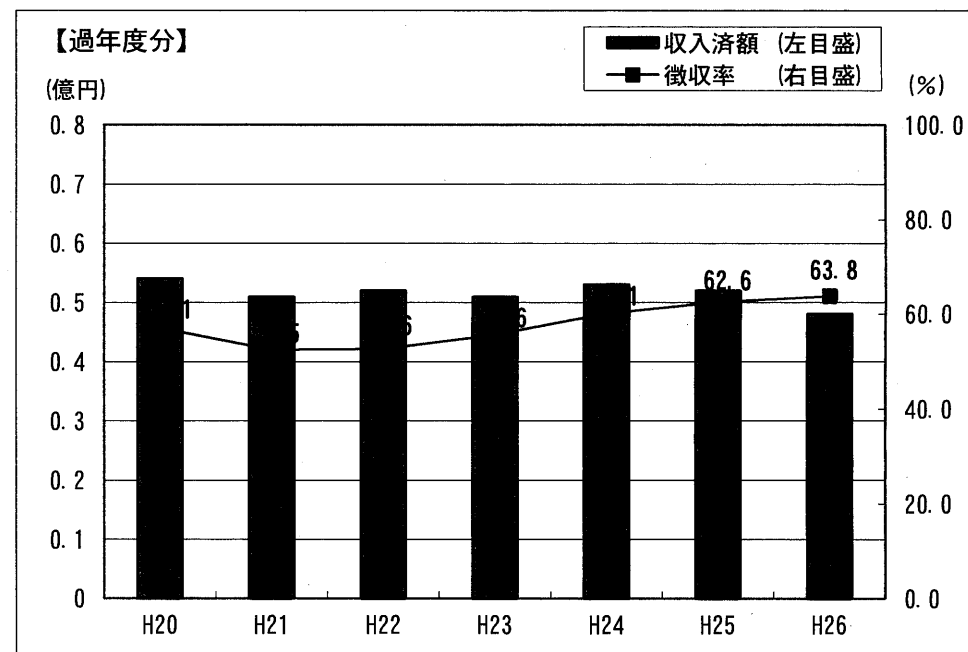


	単位	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
総配水量 (左目盛)	千m³	22,043	21,842	21,977	21,447	20,734	20,331	20,011
有収水量 (左目盛)	千m³	20,435	19,941	20,174	19,733	19,142	18,748	18,367
有収率 (右目盛)	%	92.71	91.30	91.80	92.01	92.32	92.22	91.79

水道料金の収入状況



	単位	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
調定額	億円	28.64	27.79	27.99	27.76	28.05	27.41	27.40
収入済額 (左目盛)	億円	28.05	27.22	27.45	27.20	27.52	26.91	26.94
徴収率 (右目盛)	%	97.9	97.9	98.1	98.0	98.1	98.2	98.3



	単位	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
調定額	億円	0.95	0.97	0.99	0.92	0.88	0.82	0.76
収入済額 (左目盛)	億円	0.54	0.51	0.52	0.51	0.53	0.52	0.48
徴収率 (右目盛)	%	57.1	52.5	52.6	55.6	60.1	62.6	63.8

水道料金の収入状況

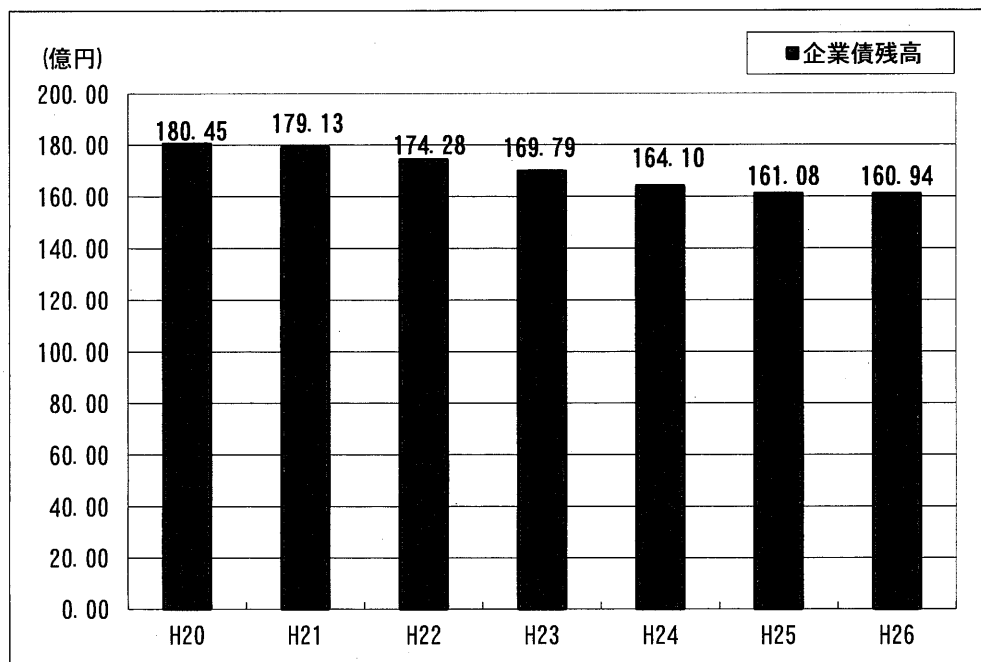
(税込)

(単位：円)

調定年度	調定額 (A)	平成25年度末までの収入額	平成25年度末収入未済額	平成26年度収入額	平成26年度末収入額計 (B)	徴収率 (B/A)	平成26年度末収入未済額 (A-B)	備考
H21	2,779,341,463	2,773,200,310	6,141,153	851,880	2,774,052,190	99.8	5,289,273	平成26年度 不納欠損処分
H22	2,798,614,843	2,792,939,214	5,675,629	959,187	2,793,898,401	99.8	4,716,442	
H23	2,775,515,914	2,769,626,925	5,888,989	1,286,007	2,770,912,932	99.8	4,602,982	
H24	2,805,453,239	2,797,606,047	7,847,192	2,786,228	2,800,392,275	99.8	5,060,964	
H25	2,740,904,916	2,690,761,019	50,143,897	42,432,817	2,733,193,836	99.7	7,711,080	
小計	13,899,830,375	13,824,133,515	75,696,860	48,316,119	13,872,449,634	99.8	27,380,741	
H26	2,739,890,256			2,693,849,864	2,693,849,864	98.3	※ 46,040,392	平成27年8月現在 収入未済額 14,203,044
合計	16,639,720,631	13,824,133,515	75,696,860	2,742,165,983	16,566,299,498	99.6	73,421,133	

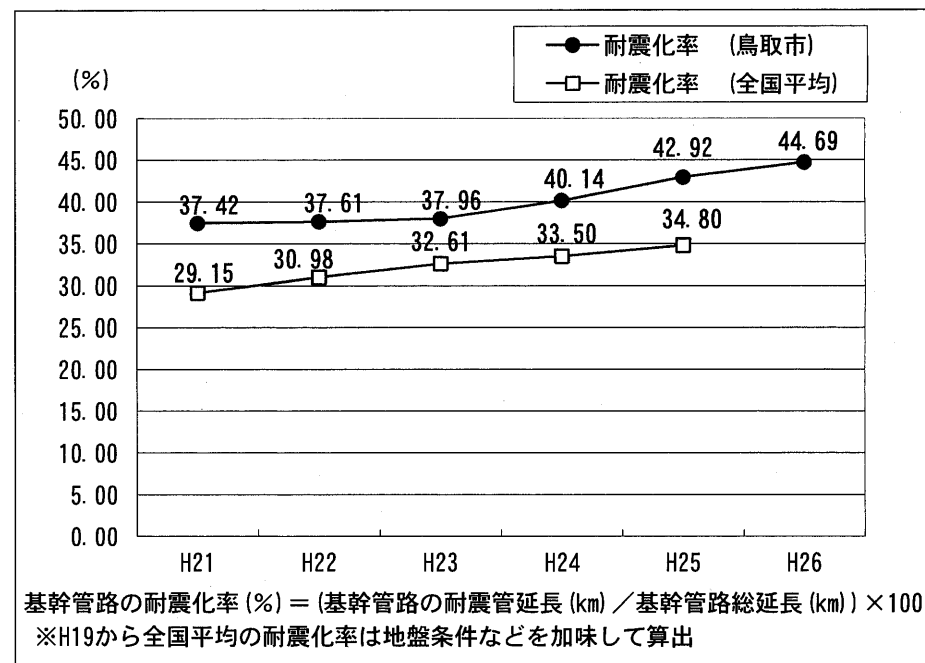
※現年度分は、年度末の決算時には収入未済額が多いですが、その後多くが収入となり、一年後には収入未済額は大きく減少します。

企業債残高の状況



	単位	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
借入額	億円	11.67	5.77	6.36	4.13	4.42	3.65	7.30
償還額	億円	6.86	7.09	11.21	8.62	10.11	6.67	7.44
企業債残高	億円	180.45	179.13	174.28	169.79	164.10	161.08	160.94

基幹管路の耐震化率

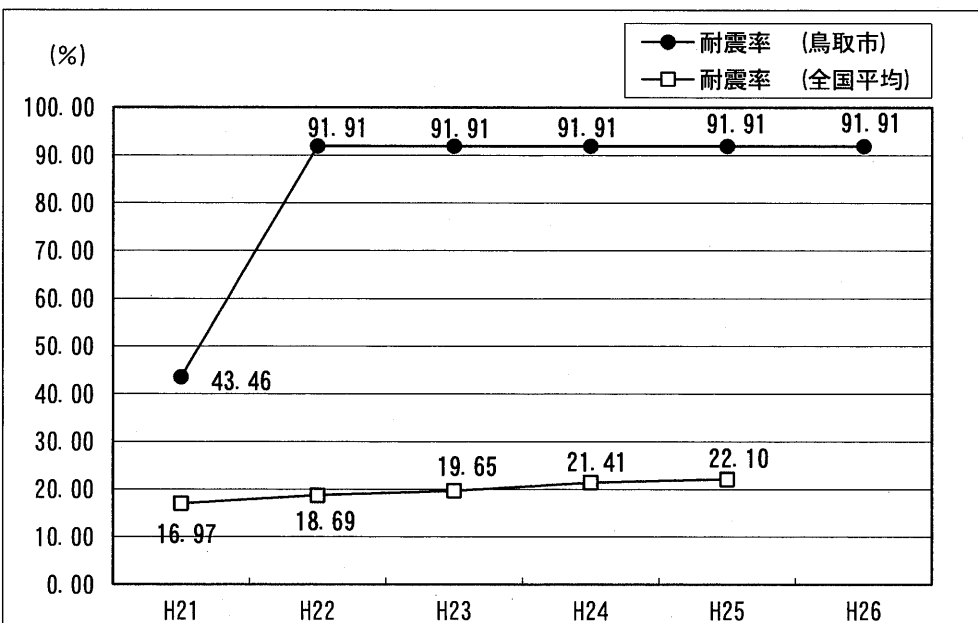


	単位	H21	H22	H23	H24	H25	H26
耐震化率 (鳥取市)	%	37.42	37.61	37.96	40.14	42.92	44.69
耐震化率 (全国平均)	%	29.15	30.98	32.61	33.50	34.80	

※全国平均の数値は、

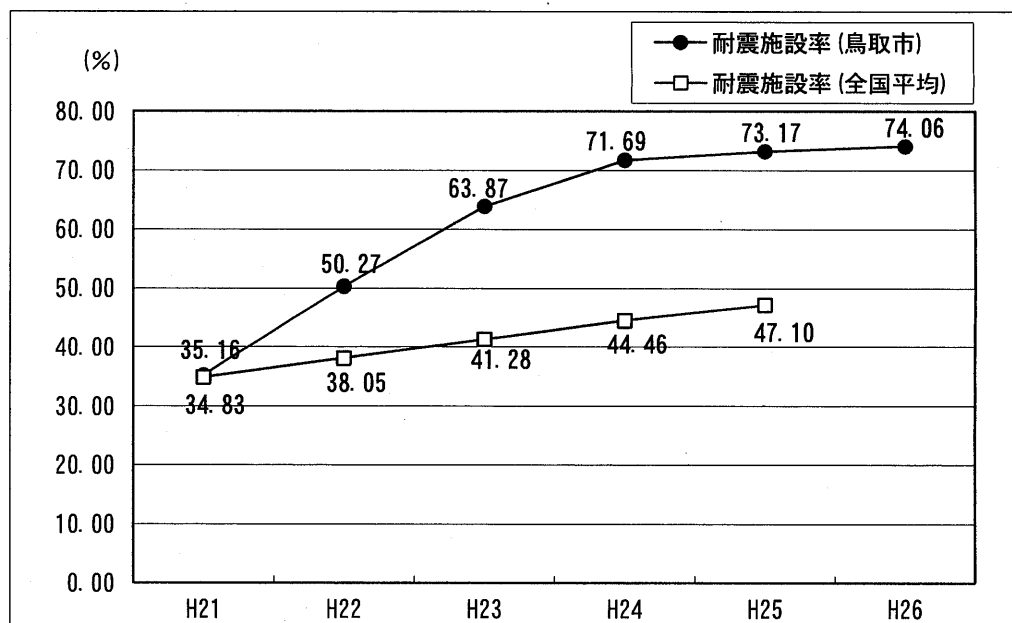
H21～H24：財団法人水道技術研究センターによる水道統計に基づく試算結果
 H25：厚生労働省による耐震化状況の調査結果

浄水施設耐震率



浄水施設耐震率 (%)
 = (耐震対策の施されている浄水施設能力 (m³/日) / 全浄水施設能力 (m³/日)) × 100

配水池耐震施設率



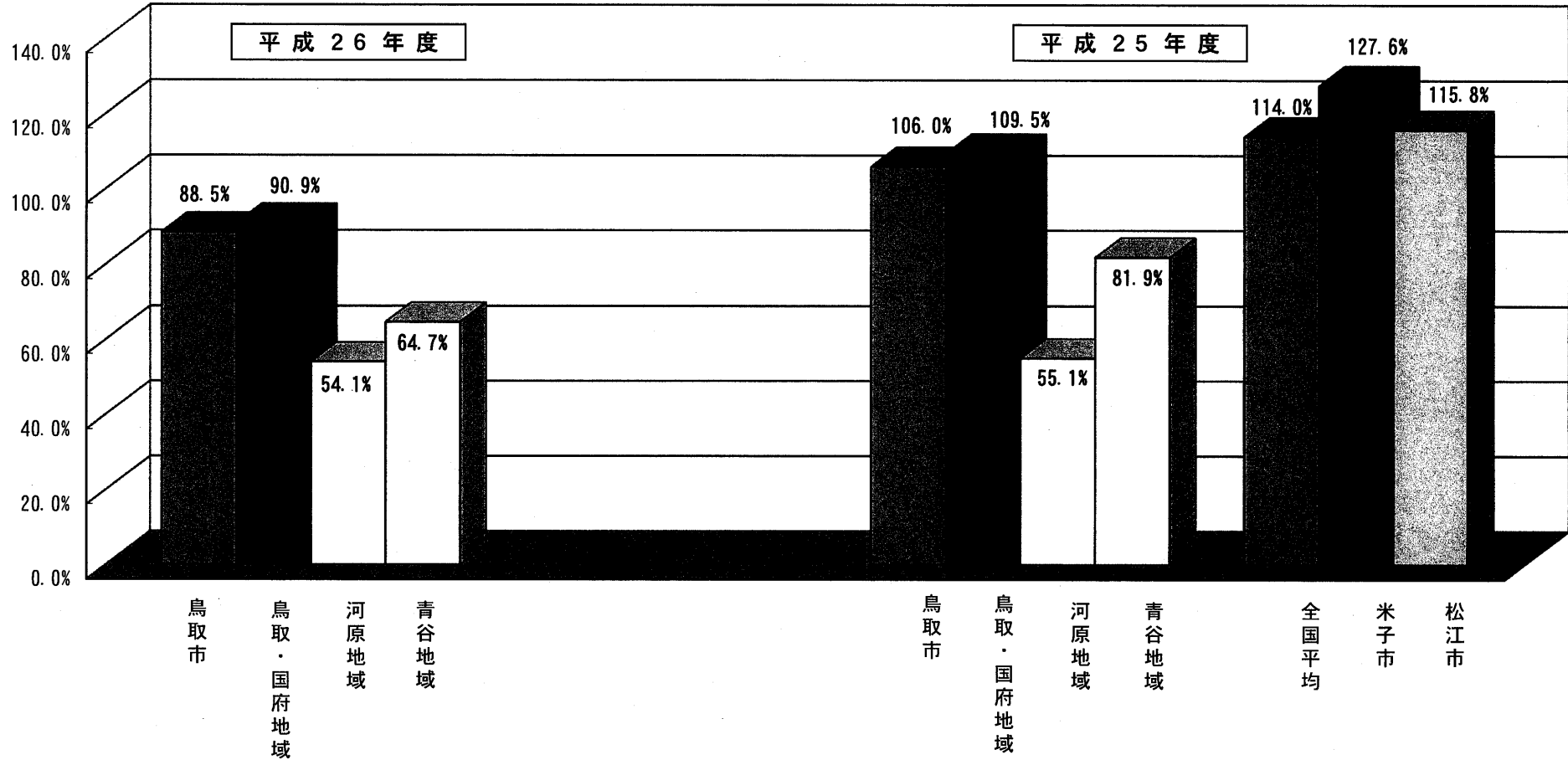
配水池耐震施設率 (%)
 = (耐震対策の施されている配水池容量 (m³) / 配水池総容量 (m³)) × 100

	単位	H21	H22	H23	H24	H25	H26
耐震率 (鳥取市)	%	43.46	91.91	91.91	91.91	91.91	91.91
耐震率 (全国平均)	%	16.97	18.69	19.65	21.41	22.10	

	単位	H21	H22	H23	H24	H25	H26
耐震施設率 (鳥取市)	%	35.16	50.27	63.87	71.69	73.17	74.06
耐震施設率 (全国平均)	%	34.83	38.05	41.28	44.46	47.10	

※全国平均の数値は、
 H21～H24：財団法人水道技術研究センターによる水道統計に基づく試算結果
 H25：厚生労働省による耐震化状況の調査結果

営業収支比率



営業収支比率 : 通常の営業活動に要する費用を給水収益等の営業収益でどの程度賄っているかを示す指標。
この比率が高いほど営業利益率が高いことを表す。

$$\text{営業収支比率 (\%)} = \frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$$

平成26年度資金不足比率（水道事業）

資金不足比率とは、公営企業ごとの資金の不足額が、事業の規模に対してどの程度であるかを示すものです。
式で示すと、次のようになります。

$$\begin{aligned}
 \text{資金不足比率} &= \frac{\left[\begin{array}{l} \text{※1} \\ \text{流動負債} \end{array} - \begin{array}{l} \text{平成26年度同意等債} \\ \text{で未借入の額} \end{array} \right] + \begin{array}{l} \text{建設改良費等以外の経費} \\ \text{に対する地方債の現在高} \end{array} - \left[\begin{array}{l} \text{※2} \\ \text{流動資産} \end{array} - \begin{array}{l} \text{繰越工事資金} \end{array} \right]}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100 \\
 &= \frac{(243,130 - 0) + 0 - (1,960,094 - 0)}{2,732,868 - 978} \times 100 \quad (\text{単位：千円}) \\
 &= \triangle 62.84 \%
 \end{aligned}$$

よって、資金不足になっておりません。

- ※1 流動負債：負債のうち事業の通常取引において1年以内に償還しなければならない短期の債務
 (翌年度償還の企業債及び、負債性引当金のうち、通常1年以内に使用される見込みのもの(賞与引当金等)
 については算入対象外としています。)
 (例) 未払金(工事未払金、修繕未払金等)、前受金(工事予納金)、預り金(契約保証金等)等
- ※2 流動資産：現金及び比較的短期間のうちに回収され、または販売されることによって現金に換えることのできる資産
 (評価性引当金(貸倒引当金)のうち、流動資産が減耗するものについては算入対象外としています。)
 (例) 現金、預金、未収金等